



青葉みらいづくり大学校 2024

第3回 若い世代の思いを知り多世代が参加する地域活動を考えよう！

日 時：11月9日（土）13:00～16:00

場 所：青葉区役所 4階会議室

第3回 概要

次世代を担う学生たちと対話しながら積極的に「参加したくなる地域活動」について考える。
学生たちの意見を参考に、マイプランの種となるアイデアを集める。

第3回プログラム



- 施設紹介
- ワーク
- マイプラン準備シートの説明
- グループワーク
- 感想をシェア



施設紹介

青葉区区民活動支援センター（区役所1階）から、施設の説明と利用方法についての案内、またセンターに登録している活動団体やまち活パートナーズ（知識や技術、経験を生かしたまちづくりに貢献したいボランティア）などの紹介がありました。



青葉区
区民活動支援センター



ワーク：あなたの地域はどんな地域？

■個人ワーク

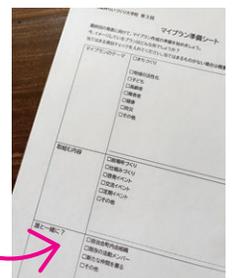
プログラム後半の学生との対話の前に、自分が住む地域を再認識するため、①地域の魅力、②おすすめスポット、③お困りごと、④将来どんな地域になってほしいかを考えシートに書き出しました。

■グループワーク

受講生それぞれの「地域観」を共有しました。美しい街並みや、子育て環境の充実、同世代が多く住む居心地の良さとともに、出身地と比べて近隣の住民同士の関わりが薄いことや、地域の急速な高齢化、子どもたちの居場所が少ないことなどが話題になりました。



マイプランのテーマ
×
取り組む内容
×
誰と一緒に



マイプラン準備シート

マイプラン準備シートの説明

マイプランを作成する準備として、「マイプラン準備シート」の説明を行いました。このシートを使い、マイプランのテーマや内容、誰と一緒に活動するかを具体的に考えました。

青葉みらいづくり大学校 × あおば未来プロジェクトのコラボ

グループワーク

あおば未来プロジェクトの学生とグループワークを行いました。

■グループワークで出た意見

- ① **あなたにとって地域の魅力を教えて**
 - ・暮らしやすく、地域のイベントが多い
 - ・ペットを飼っている人が多くコミュニティがしやすい
- ② **地域活動でのお困りごと聞いて**
 - ・地域でどんな活動をしているのか知ることが難しい
 - ・学校行事や部活、課題が優先となってしまう
- ③ **どんな地域活動なら参加したい？**
 - ・参加者も主催側も楽しんでいて、やりがいがある
 - ・単発の参加やお手伝いができる
- ④ **地域のこともっと教えて**
 - ・学校数の減少。昼間の人口が少なく高齢の方が多い
 - ・夏の水あそびイベント「Uchiwith」など、大学生、社会人でも主催者側になれる行事を開催している

横浜市青葉区青少年の地域活動拠点

あおばコミュニティ・テラス



学校でも家庭でもない青少年の居場所・サードプレイスとして、誰でも自由に使うことができます。中高生、大学生がまちづくりの活動やボランティア活動に主体的に参加し、活動を通じて地域の方々とつながりを持つことができます。

あおば未来プロジェクトとは？

あおばコミュニティ・テラスの事業の1つ。やってみよう！と主体的に参加した中高生が「まちの魅力づくり」や「地域課題の解決」のために1年間活動し、青葉区長への政策提言につなげます。大学生がサポーターとして関わり、中高生の考えを引き出したり、フィールドワークに同行し伴走します。



感想をシェア

グループワーク後、みらい大、あおば未来プロジェクトに分かれ、それぞれコラボした感想を話し合いました。

みらい大受講生の感想

- ・若い世代と短い時間でも交流できて楽しかった
- ・地域に関心を持つ若い世代がこんなにいることに驚いた
- ・決められた活動を手伝うより、自分たちが「やりたいこと」を実践できる場を求めることが分かった

あおば未来プロジェクト学生の感想

- ・大人は豊富な経験を積んでいてすごいと思った
- ・普段関わることがない地域の方々と話すことができた
- ・自分たちと大人が見ている地域や未来の違いを感じた



みらい大生とあおば未来プロジェクトの学生たち